

中央区文化財(17点)展示品の解説書

No.	表題	年代	差出	受取	形態	説明
1	演説（取引正常化を図る回章）	（享保10年）乙11月	御定薬種問屋会所[印]		状	問屋への薬種代金の支払い方法や、上方・問屋間での取引について、御触を守り、滞りなく誠実に行くことを求めて出された通達
2	定（問屋仲間法度書）	嘉永6年12月	脇店薬種問屋仲ヶ間 （印）年番（印）改役 （印）		状	薬種問屋仲間の取決めを記したものの。毒薬・贗薬の禁止、手代や小者と呼ばれた報告人たちの実態把握など、7か条について書き記している。
3	諸商人御用金之写	（嘉永7年5月25日）	定世話掛り 組合世話掛り		豎冊	町奉行所からの御用金供出の通達と商人の御用金書上げの写し。通達には海防の充実や禁裏炎上などにより物入りが続いていること、また書上げには商人の名前と金額が一件ずつ記されている。本町薬種問屋については16軒一括で金2300両を
4	江戸十組問屋便覧	文政2年	浅井金助撰		横	江戸に成立した問屋組合の連合である十組問屋の一覧。本町薬種問屋は20、大伝馬町組薬種問屋は本町薬種問屋から独立した問屋が多く、銀座や小舟町など江戸市中に店が存在した。
5	東京薬種問屋組合加盟証	明治17年4月10日	頭取加藤文治郎（印）副頭取松本伊兵衛（印）	日本橋区本町四丁目十八番地松本伊兵衛殿	状	明治17年4月、組合員62名で設立された東京薬種問屋組合の加盟証。組合加盟金は甲・乙で区別され、甲は金70円で37名、乙は金35円で25名であった。本資料は甲の加盟証、資料の左側を切り取り、組合員に渡す形式となっている。
6	東京薬種貿易商同業組合信認金領収証	明治33年8月30日	東京薬種貿易商同業組合組長松本伊兵衛（印）副組長高橋初次郎（印）	山口吉兵衛殿	状	明治33年7月に発足した東京薬種貿易商同業組合の信認金の領収書。東京薬種貿易商同業組合は、同年に東京薬種問屋組合が解散した後、薬品の精粗を正し、輸出入を盛んにすることなどを目的に設立された。
7	免許鑑札	明治19年3月16日	東京府庁[印]	東京府平民 藤田惣次郎	状	明治19年に東京府庁から交付された薬種商の営業免許鑑札。裏面には、当免許鑑札に関する届出・返納等の規定（氏名変更・遺失毀損・転居・廃業・死亡の際）が記載されている。
8	免許鑑札返納書	昭和3年5月9日	日本橋堀留警察署長 警視庁警視木崎宏[印]	佐藤愛蔵	状	薬種商が営業免許鑑札を返納した証明書。資料は日本橋堀留警察署長から返納を命じられた薬種商が、鑑札と引き換えに交付された返納証。裏面には営業許可や鑑札返納に係る規定等が記載されている。
9	薬舗開業免許写（明治19年5月11日）	昭和10年11月	内務大臣伯爵山県有朋[印]	東京府士族 杉田敬一郎	状	薬舗開業にあたって内務大臣・山県有朋から交付された明治19年5月の免許状の写し。開業者名に東京府士族と記載されている点に時代を感じさせる。当資料は、昭和10年11月に薬舗廃業等のために返納した免許状の写本である。
10	明治廿五年度組合費計算表 明治廿六年役員人名	明治26年1月	東京薬種問屋組合事務所		豎冊	明治中期に東京薬種問屋組合事務所から発行された組合の収支決算表と役員名簿。明治25年度当時の収支内訳とともに、明治26年の組合役員（松本伊兵衛ほか6名）・惣代委員名（中川宇八ほか6名）の記載がみられる。
11	東京薬種貿易商同業組合員名簿	大正11年1月	（東京薬種貿易商同業組合）		状	関東大震災の約1年半前に印刷された組合員名簿。発行は日本橋区本石町四丁目17番地の組合事務所。昭和10年の島田忠兵衛（大正13年まで日本橋区本町三丁目にあった薬種卸）による訂正書き込みがある。
12	東京薬種貿易商同業組合員名簿	大正13年6月	（東京薬種貿易商同業組合）		状	日本橋区本石町四丁目17番地の組合事務所から発行された会員名簿。関東大震災（大正11年9月1日）から約1年後の組合員の状況がわかる名簿である。昭和10年の訂正書き込みがある。
13	設利帳 木下専用	昭和12年7月	三輪商店木下繁雄		横	日本橋区本石町四丁目の三輪商店（三輪傳二）・木下繁雄氏が帳付けしていた付込通帳（東京薬種貿易商同業組合蔵版）。当時は信用取引で行われており、「品目（薬品名）」の「値段書」は符丁で付けられていることがわかる。
14	（判取帳）	昭和5年9月30日～昭和8年10月5日	東京市日本橋区本町三丁目七番地薬種貿易商 浅川幸一商店		横	日本橋区本町三丁目の薬種貿易商・浅川幸一商店が所蔵していた昭和期の帳簿。各薬種問屋の金銭領収は、概ね月末（29日～31日）となっている。様々なデザインの薬種問屋証印に目とまる。
15	判取帳 紀参号	昭和2年5月18日～昭和5年4月30日	東京市日本橋区鬼頭商店 東京出張所		横	日本橋区鬼頭商店東京出張所が所蔵していた昭和期の帳簿。薬種品代の金銭領収に関する証印帳簿となっており、バラエティーに富んだ各薬種問屋の押印が特徴的である。
16	明治十七・八年頃東京薬種問屋 人名並ニ所在之図		十八代目島原吉兵衛		舗	明治17年（1884）頃の日本橋区本町二丁目・三丁目周辺に展開していた薬種問屋所在地図。本町三丁目の18代目・島原吉兵衛（荷印： ）による手書き。本町周辺には荷印・薬種問屋名が数多く散見される。
17	東京薬種問屋所在位置老覧図 （明治貳拾五、六年頃）				舗	明治25年（1892）頃の日本橋区本町二丁目・三丁目周辺を描いた手書き地図。作者は不明だが、明治17年頃の図から8年前後の薬種問屋街を確認できるため、比較資料としても貴重である。